

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	16 湯沢駅東西の連絡強化と交通結節点機能確保による移動の利便性、安全性の向上										
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）			交付団体	湯沢市						
計画の目標	湯沢駅東西自由通路、駅前広場、駅西広場及び周辺道路の整備等を行い、JRによる地域分断の解消、交通結節点機能の確保により、利便性、安全性の向上を図る。										
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 駅西地区から駅前広場までの所要時間を7分短縮 駅前における歩行者・自転車通行量を874人・台（H22調査）から918人・台（H27調査まで）に5%増加 										
定量的指標の定義及び算定式	$\text{（所要時間）} = \text{（歩行距離} \div \text{歩行速度）（分）}$ $\text{（通行量の増加率）} = \text{（評価時点の通行量} - \text{H22調査の通行量）} \div \text{（H22調査の通行量）}$										
	定量的指標の現況値及び目標値										
	当初現況値 (H22)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H27末)	備考							
	10分	-	(7分短縮) 3分								
	874人・台	-	(5%増) 918人・台								
全体事業費	合計 (A+B+C)	3,777百万円	A	3,494百万円	B	0百万円	C	283百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		7.5%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期		事後評価の実施時期		平成28年度	
事後評価の実施体制		公表の方法		湯沢市ホームページで公表	
湯沢市					

1. 交付対象事業の進捗状況

A 地方道路整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
16-A1-1	街路	一般	湯沢市	直接	-	S街路	改築	新開地線（駅前広場）	現道拡幅 L=0.1km、駅前広場A=2,600m ²	湯沢市						758	
16-A1-2	街路	一般	湯沢市	直接	-	S街路	改築	駅西線（駅西広場）	現道拡幅 L=0.1km、駅西広場A=1,900m ²	湯沢市						2,736	
合計																3,494	

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
16-C1-1	施設整備	一般	湯沢市	直接	-	駐車場・駐輪場整備	駐車場、駐輪場整備事業	面積A=2,300m ²	湯沢市						206		
16-C1-2	施設整備	一般	湯沢市	直接	-	情報板整備	観光案内情報板の整備	1基	湯沢市						2		
16-C1-3	施設整備	一般	湯沢市	直接	-	防犯カメラ設置	防犯カメラの設置	1式	湯沢市						5		
16-C1-4	施設整備	一般	湯沢市	直接	-	観光案内施設	観光案内施設・公衆トイレ整備（駅舎内に合築）	面積A=161m ² 情報提供設備	湯沢市						70		
合計																283	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

16-C1-1	道路事業(16-A1-1)と一体的に交通結節点機能の強化を図り、JRや路線バス等の公共交通へのアクセス性の向上を図る。												備考
16-C1-2	道路事業(16-A1-1)と一体的に整備することで、来街者への利便性、観光振興を図る。												
16-C1-3	道路事業(16-A1-2)と一体的に整備し、通勤通学における安全・安心を確保する。												
16-C1-4	道路事業(16-A1)の実施に併せ、駅内に合築することで、地域観光案内機能の強化・充実を図り、観光客の利便性の向上を図る。												

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		湯沢駅東西自由通路及び都市計画道路駅西線の整備により、狭隘な踏切を通ることなく駅西地区～湯沢駅～駅前広場～中心市街地への自転車・歩行者通行ルートが確保され、所要時間の短縮及び安全安心な往来が可能となった。									
II 定量的指標の達成状況	指標①所要時間	最終目標値	3	分	目標値と実績値に差が出た要因	目標値と実績値に差が無い					
		最終実績値	3	分							
	指標②通行量の増加率	最終目標値	5	%	目標値と実績値に差が出た要因	駅前広場～中心市街地の歩行者等通行量は大幅な減少（H22.7.23：874人台からH28.7.29：526人台）となった。これは平日において駅西地区住民や来訪者（観光客）を中心市街地に引き寄せる魅力が十分に発揮されていないことが要因のひとつと考えられる。また、駅前広場や駐車場整備により車利用（送迎等）の利便性が向上し、歩行者通行量の減少に結びついたことも想定される。ただし、目標値は平日通行量であるが同調査における休日の通行量は24.6%増（H22.7.25：341人台からH28.7.31：425人台）となっており、休日での通行量増加率は目標増加率5%増を達成している。					
		最終実績値	39.8	%							
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> 平成28年12月に実施した市民アンケート調査では、一般、高校生の事業に対する満足度は平均65.8%であり、事業効果が市民に認識されている。 駅前広場発着路線バスが5路線で79本の運行となり、従前は駅東側道路上のバス停留所で乗降していた利用者が、整備後の駅前広場内で安全にかつ湯沢駅乗換え等が迅速に出来るようになった。 本事業により整備された観光案内施設への来客数は、まちなか（中心市街地開催）行事・イベント時には同年平均の2～2.6倍と来客数が増えた。さらに、温泉峡や観光施設への送迎車の乗降場所として駅前広場が分かり易く安心できる場所として利用される等、観光振興に効果が波及している。 湯沢駅東西自由通路の通行量は平均240人台/日であるが、「犬っこまつり」や「七夕絵どうろうまつり」の開催中は620～730人台/日と3倍ほどで、観光客のみならず駅西地区の住民の利便性向上や安全安心な通行確保に貢献している。 									

3. 特記事項（今後の方針等）

- 引き続き、都市計画道路新開地線、駅西線の未整備区間の整備を推進する。また、駅前交流広場を整備により、イベント等利活用し交流活性化を図る。
- 交通結節点機能の強化に引き続き、課題として残る中心市街地の活性化・賑わい創出に向け、街区整備及びソフト施策などを推進していく。